



尾形光琳「紅白梅図屏風」より構成

キラリと光る講座紹介

アカデミーでは、皆さまに様々な分野の講座をご紹介することで、“知の海へ”の航海のお手伝いをいたしております。今回は、キラリと光る講座の数々をご紹介いたします。（☑はオンライン併用講座です）

エクセレントⅡ 金曜 14:00 新百合

SDGs を実現した

江戸時代の社会と科学技術



エクセレント講座とは「他文化の理解を目指す複合(総合的)講座」と定義された講座で私達のエクセレントⅡは「日本」をテーマに文化や地域史などを取り上げてきました。



2021年後期のテーマは「江戸の社会と科学技術」です。鎖国により自給自足を行う中、260年余の平和と繁栄を維持した江戸時代。世界史上でも稀な「平和」の下「文明化」が進んだ時代でもありました。藩幕体制の中、諸藩は領民と領地を大切にし、かかる土壌の上に科学や技術は広く社会に共有、活用されていました。それは持続可能な社会の実現でもあり、明治の近代化に繋がりその礎になりました。全11回ともこの分野の権威である国立科学博物館の鈴木一義先生に登壇頂き、具体的事例やモノ資料から分かりやすい講義をいただきます。

カラクリ人形など遊び心もある楽しい講座です。

経済 金曜 13:00 プラザ

世界経済を読み解く視座



経済講座では今回、「世界経済を読み解く視座」をテーマに学びます。

講師に平井俊顕上智大学名誉教授をお迎えいたします。先生はこれまでケインズを中心に研究をされ、現在ケインズ学会の会長の要職にあります。

概要は、この数十年に展開してきた世界経済について経済思想的、経済分析的視点から、重要な出来事を分かりやすく、とりわけ私たちを取り巻く状況について、今後の展望も踏まえ説明していただきます。内容は、「グローバリゼーション現象」「日本経済」「米中の現状を探る」等々、知的好奇心を駆り立てる12回の講座編成となっております。皆さまの受講をお待ちいたしております。



平井俊顕

交流館（歴史）水曜 14:00 交流館

川崎沿海域、近代産業の発展と産業文化遺産

川崎の沿海地域では、工場の建物が林立する、代表的な工業都市としての景観が見られます。かつては、漁業と海苔の養殖・製塩で栄えた漁村が、どのようにして大工業都市へと変貌して行ったのか、その歩みを現存する数々の産業文化遺産を通して学びます。川崎の歴史や日本の近代史に関心をお持ちの皆様、ぜひ受講していただきたい講座です。



浅野総一郎



新しい科学の世界Ⅱ

金曜 15:00 プラザ



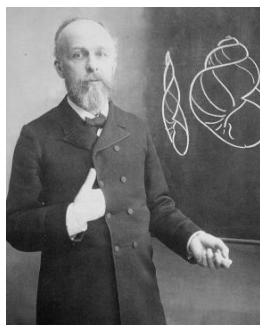
「今」が分かる科学と技術

2021年度前期お休みをした『新しい科学の世界Ⅱ』が、装いを新たに帰ってきました。

テーマは「科学」と「技術」です。「科学」と「技術」は全く別の概念でしたが、現代では互いに支え合い、あるいは一体となり、社会に深く浸透してきています。『新しい科学の世界Ⅱ』は、過去・現在・さらには未来への展望までを視野に、様々な「科学」と「技術」を学ぶ講座です。

2021年度後期は、第一線の研究者・実務者を講師に迎え、「ゲノム解析」から「系外惑星」までの多彩な科学分野に加え、「建築（スカイツリー）」「AI（顔認証）」「空飛ぶクルマ」などの多様な技術テーマを講義していただきます。

さらに、11月末には2021年ノーベル賞受賞業績についての講義もあります。「科学」「技術」に興味をお持ちの皆様、受講をお待ちしています。



エドワード・S・モース

エクセレントⅢ 火曜 13:30 新百合

イスラームをもっと知ろう①



イスラームとは何か

知っているつもりで実は最も知らない世界、それがイスラームではないでしょうか。イスラームは、宗教、歴史、文化、民族など分野もテーマも奥が深い世界です。そこで、シリーズ講座として取り上げることとなりました。

今回は、まず第一弾として「イスラームとは何か」を学びます。

7世紀にアラビア半島のメッカで創唱されたイスラームは、アジア・

アフリカから欧米まで拡大し、信徒の数は18億を超え、個人や社会の規範となっています。本講座では、イスラーム世



アヤソフィア イスタンブール

界における宗教、法・政治・経済、社会・文化・生活のあり方を通して、文明としてのイスラームの姿を明らかにします。ご期待下さい。

地域協働講座E（生活）

金曜 10:30 プラザ



高齢者の自立はどうあるべきか



地域協働講座は、企業、大学、病院、地域関係機関などと連携し地域との密着性が高い講座を川崎市生涯学習

財団とNPOかわさき市民アカデミーの協働で開講しています。

今期の「生活」講座は、私たちの身近で大切な問題「高齢者の自立支援」をテーマに社会保障、福祉、医療、財政など各分野において第一線で活躍する先生方にご登壇いただきます。

医療、介護、年金など社会保障に関連してよく「自立」がキーワードとして使われます。この講座では「自立」「自律」を切り口に、高齢者の地域での生活の在り方、その支援のあり方、生活者としての社会保障の使い方・関わり方について理論と実践の両面から考え、学ぶことを目的とします。高齢者の自立支援はどうあるべきか、一緒に考えてみませんか。みなさまのご受講お待ちしております。

歴史（川崎学） 土曜 10:30 プラザ

モノの生産から見る川崎の歴史（その1）

後期講座のテーマは「モノの生産から見る川崎の歴史」です。

後期内容について歴史（川崎学）のコーディネーターの先生方と世

小向 妙光寺田中休隅の墓話人と意見交換会を行いました。

世話人の皆さんから後期テーマについて、たくさんの意見が出され今回の講座だけではまとめきれず、先生方のご指導のもと、モノの生産から見る川崎の歴史「その1」となりました。



今回野外講座は3回あります。

川崎市は川崎区から麻生区まで横に細長くそれぞれの地域から、モノの生産を見て、川崎の歴史を知ることができます。

川崎を横断している南北路、府中街道、江戸・東京から西への東西路、東海道、中原街道、大山街道、津久井道、いずれも川崎を通して物資を運んでいました。

縄文から近現代までそれぞれの時代に川崎から何が作られたのか、また、何を運んだのか等・・・12回の講座が楽しみです。

個人的にはこの講座を受講してかなりの年数になります。同じ場所等に何回も行ったこともあります。歴史は動いています。改めて新鮮な喜びや驚きもあり毎回感動しています。

また、新型コロナウイルスの影響で特別課外講座も残念ながらできていません。

コロナの終息を期待しつつ特別課外講座開催も楽しみにしています。

建築と都市 水曜 10:30 プラザ 江戸城と大名屋敷



毎年建築と都市の後期は、「日本の都市と建築」です。昨年度東海大学教授 小沢朝江先生からコーディネーターを引き継がれたのは、日本工業大学名誉教授 波多野純先生。江戸東京博物館の企画や模型の制作にも深く関わってこられました。



江戸城年始登城風景図屏風
(江戸東京博物館所蔵)

江戸城、大名屋敷、そして武家の生活文化を建築史・考古学・歴史学の視点からそれぞれの専門家が読み解いていきます。

さらに、今期は徳川家の葬儀と霊廟という新たな分野に踏み込んだプログラムも盛り込まれています。

そして、ぜひお伝えしたいのは長きにわたって学の充実とアカデミーの円滑な運営に一方ならぬご尽力をいただきましたが、2020年度をもって退任された小澤弘先生もご登壇されます。

エクセレントI 水曜 10:30 プラザ 世界を旅する②バルト三国 (エストニア、ラトヴィア、リトアニア)



乙女が祈る姿と言われるバルト海の東南岸に並びエストニア、ラトヴィア、リトアニア。ペレストロイカからソ連崩壊に至る激動の時代に、このバルト三国がいち早くソ連から離脱したことを覚えている人は多いだろう。では、「バルトの道（人間の鎖）」運動や「歌と踊りの祭典」はどのような役割を果たしたのだろうか？個々の国についても私たちの知識は乏しく、断片的だ。



<NHKBS1 スペシャル「ラトヴィア100年物語
～歌と踊りでつないだ誇り」から>

おりしも2021年は、バルト三国が独立を回復し再び日本と国交が開かれてから30年。これらの国々の過去と現在を旅するには格好のタイミングである。さまざまな角度から「バルト三国」を知る端緒としませんか。

現代事情 月曜 10:30 プラザ コロナ禍があぶりだした現代日本の諸問題




今次のパンデミックは、日本の社会と国家にどのようなインパクトをもたらすのでしょうか？後期の現代事情講座では、コロナ禍があぶりだした、現段階で見られる




様々な日本の問題点に焦点をあてます。重要なのは、政治権力を握る人々の思惑やメディアのセンセーショナリズムによって覆い隠されがちな実相を、比較の視座も加えて客観視することでしょう。6回の講座では、コロナ禍を経た日本社会の

変化（武川正吾先生）、国と自治体の政治行政（金井利之先生）、医療への影響（二木立先生）、雇用問題（阿部誠先生）、精神保健（村上雅昭先生）、ヨーロッパの政治社会（水島治郎先生）の各領域から、総合的に検証していきます。月曜午前、生涯学習プラザでの開講です。

国際関係 月曜 13:00 プラザ
ソ連のパレストロイカと冷戦終焉 



1985-91年のソ連が経験した巨大な変化であるパレストロイカと冷戦終焉。その変化があまりにもめまぐるしいため、何がどのようにして起きたのかをきちんと跡づけるのは容易ではありません。この講義では、その過程をいくつかのステップに分けて追跡し、国内の変化と対外関係（冷戦終焉）の関係についても理解を深めます。この作業はソ連なきあとの現代世界について考える上でも、ヒントを投げかける内容です。講師はソ連研究の第一人者、塩川伸明先生（東京大学名誉教授）です。講座に続き、塩川先生によるWS「歴史の中のロシア革命とソ連」も開講します。多くの方が経験した、今なお影響が続く、国際社会の大きな動きを学んでみましょう。

政治・社会WS 水曜 15:00 プラザ
フランス・フクヤマ 
『政治の起源』を読む

「みんなで一冊の本を読破したい」との要望が多い政治・社会WSですが、今回は、米国の著名な政治学者フランス・フクヤマの後期代表作『政治の起源』を読み、政治制度の発展を人類誕生から

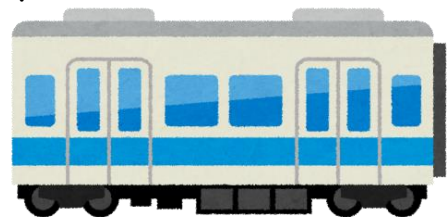


たどります。その最終形である自由な民主主義には「国家機構」、「法の支配」、「説明責任を負う民主的な政府」が必要との考えをも

とに、この3つが、地球上の各所（中国・インド・オスマン帝国・欧州など）でダイナミックに発展していく姿を追います。NHKスペシャルでもコメントを見ることがあるフクヤマ。講師は、訳者で著者と交流もある会田弘継先生（関西大学客員教授）です。壮大な政治の歴史を、一緒にたどってみませんか？※テキストの入手方法は、受講確定時に詳細を連絡します。

短期集中101 木曜 16:30 新百合
小田急と昭和史 

昨年の「松本清張」で読む昭和史の原武史先生（放送大学教授・政治学）が、短期集中講座に再登場です。昭和2年に新宿一小田原間が開通した小田急の歩みは、そのまま昭和史と重なっています。3回の講座では、登戸以遠の小田原線や江ノ島線、多摩線を取り上げ、団地・天皇制・カトリックなどに関わる逸話や、同じ東京西郊に路線網を築いた西武・東急との比較を交え、小田急沿線の知られざる歴史に迫ります。鉄道を手がかりに時代と社会に迫る講師が、新百合ヶ丘会場で小田急について語る貴重な機会です。ぜひご受講ください！



企業連携講座でもロマンスカーをテーマに、ロマンスカーミュージアムを見学します。

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会 編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話：044-733-5590 FAX：044-722-5761

問合せメールアドレス：info@npoacademy.jp

ホームページ：http://npoacademy.jp/